

授業のねらい

○AI アプリケーション「Monoxer」を活用し、個別最適化された記憶定着を図る。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- 本校では今年度より AI アプリケーション「Monoxer」を活用している。(トライアル中、学校で導入検討中)
- Monoxer は「理解」ではなく、「定着」に特化した教育ツールで、生徒の記憶定着に効果がある。Monoxer は GIGA スクール端末上でも、生徒自身のスマートフォン上にインストールしたアプリでも使用することができ、データも同期されるため、個別最適化された記憶定着にも適している。
- 3年英語科ではスプリングコンテスト（単語テスト）の範囲の英単語をすべてアップロードし、生徒一人一人が自分の好きなタイミングで好きなスピードで学習ができるようにした。小テストも配信し、十分に学習できたと思ったタイミングで本番前のプレテストのイメージで実施ができるようにした。
- 期末考査前には、試験範囲の英単語をピックアップして学習ができるようにした。1年生の英単語から3年生の英単語、英語検定3級から2級までの英単語もタスクとして配信しており、生徒は自分の必要に応じて学習を進めている。
- 教員の管理画面からは個々の生徒の取り組み状況や記憶度を知ることができ、リアクションを送ることもできる。

	生徒番号	学習者	記憶度	学習計画	総学習	7日間	今日	昨日	2日前
			100%	なし	0回	0回	0回	0回	0回
			100%	なし	0回	0回	0回	0回	0回
			100%	なし	4回	0回	0回	0回	0回
			98%	なし	0回	0回	0回	0回	0回
			93%	なし	9回	0回	0回	0回	0回
			93%	なし	7回	7回	0回	7回	5回
			90%	なし	6回	6回	0回	6回	0回
			80%	なし	3回	0回	0回	0回	0回
			46%	なし	0回	0回	0回	0回	0回
			39%	なし	0回	0回	0回	0回	0回
			27%	なし	0回	0回	0回	0回	0回

生徒の様子

- これまでどのように記憶定着を図ればよいか分からなかった生徒が積極的に Monoxer を活用することにより、記憶定着を図ることができた。
- 定期考査返却後、「Monoxer やっていたから単語完璧だったよ」という声が出るなど、多くの生徒が活用していた。

成果

- 知識定着において大きな成果を挙げることができた、生徒の自己肯定感の向上につながった。
- 生徒が主体的に家庭学習に取り組むことができた。

課題

- 教科や単元によって活用の柔軟性に差が出る。
- 生徒によって取り組み方に差が出る。
- 登録の段階で支援が必要な生徒がいる。